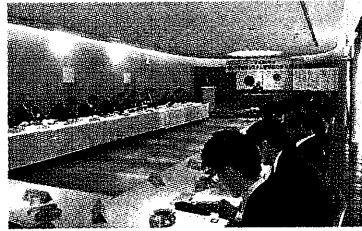


関東システム建築協力が総会

JFEシビル

JFEシビル(社長・藤井善英氏)は20日、システム建築商品「メタルビル」の施工店などで構成される「JFEシステム建築協力会」の関東地区の定期総会を東京・上野の上野精養軒で開催、約40人が出席した。写真。



冒頭、会長を務めるホシカメの星亀賢一社長は「アベノミクスの3本の矢は我々にはまだ届いてこない。しかし、JFEシビルは右肩上がりの絶好調で多くの社員の努力でよい形となっている。我々協力会と車輪の両輪として情報共有や営業活動で頑張ってきた」と挨拶した。また、森田昌敏JFE

Eシビル常務取締役は「システム建築事業の15年度売上高は140億円弱、経常利益も二ケタとなり計画を達成した。売上高200億円を突破できるよう材料・工事の拡販に注力したい。マーケットは何と言っても関東であり、取り逃がすことのないよう受注に励んでいく」と述べた。

関東システム建築協力会には15年度、新たに阪和興業とMSSシステム建築の2社が入会し会員数は30社となった。16年度のシステム建築事業部の売上目標は176億円で、デバイスの販売量が減少傾向となる中、システム建築「メタルビル」の拡販に注力する。「いちいち基礎工法の適用拡大や地元の板金業者とのコラボレーションなども検討していく。生産体制は「メタルビル」「Kルーフ」の生産拠点を3拠点に増強するほか、ブレイスについてはファブ網を強化。配送についても北関東に中継拠点を1カ所増やしていく方針。